

豊山町避難所・賑わい施設 基本コンセプト（案）

令和5年3月

豊山町

目次

1 整備の目的	1
1.1 整備の目的	1
1.2 計画地の位置	1
2 前提条件の整理	3
2.1 上位関連計画の整理	3
2.1.1 豊山町第5次総合計画	3
2.1.2 豊山町都市計画マスタープラン	5
2.2 施設整備条件の把握	7
2.2.1 現況把握	7
2.2.2 交通状況の把握	9
2.2.3 計画対象地の整備計画等の把握	12
2.3 避難所の必要性	13
2.3.1 避難所の分布状況と徒歩圏域について	13
2.3.2 避難所の規模の考え方	13
2.3.3 避難所の規模	14
2.3.4 避難所に備えるべき機能	15
3 基本コンセプト	16
3.1 基本コンセプト及び基本方向	17
3.1.1 基本コンセプト及び基本方向の設定	17
3.2 施設配置	18
3.2.1 配置方針	18
3.2.2 整備イメージ	19
4 整備方針	20
4.1 整備手法	20
4.2 事業手法の検討	20
5 資料編	21
5.1 町民アンケート調査	21
5.1.1 調査概要	21
5.1.2 調査結果	21
5.2 町内事業者ヒアリング	24
5.2.1 調査概要	24
5.2.2 調査結果	24
5.3 スポーツ団体ヒアリング	26
5.3.1 調査概要	26
5.3.2 調査結果	26
5.4 町民討議会議	27
5.4.1 町民討議会議の概要	27
5.4.2 討議結果ワークシート	27

1 整備の目的

1.1 整備の目的

今後予想される南海トラフ地震等による地震災害、近年における台風の大型化、豪雨の局地化・集中化による風水害等の発生が危惧されていることから、防災に対する新たな備えが求められています。

このような背景を踏まえ、愛知県は大規模災害時に全国からの人員や物資等の支援を受け入れ、愛知県内の被災地域や地域の防災活動拠点に迅速かつ的確に供給する後方支援にあたる「基幹的広域防災拠点」を豊山町青山地区に整備することとしました。

この基幹的広域防災拠点は平常時には消防学校や公園、グラウンド、屋内スポーツ施設などとして利用することが計画されています。

豊山町ではこれに合わせて、町内の避難施設が不足する地域の防災能力向上のための避難所を整備するとともに、新たな賑わいの創出のための施設の整備を計画することとしました。

愛知県防災公園や神明公園と連携した憩いの空間の創出とスポーツやレクリエーション機能の強化、地元商工農業の発展、多世代交流の促進、公共交通の充実などを目指します。

1.2 計画地の位置

図表 1.1 敷地概要

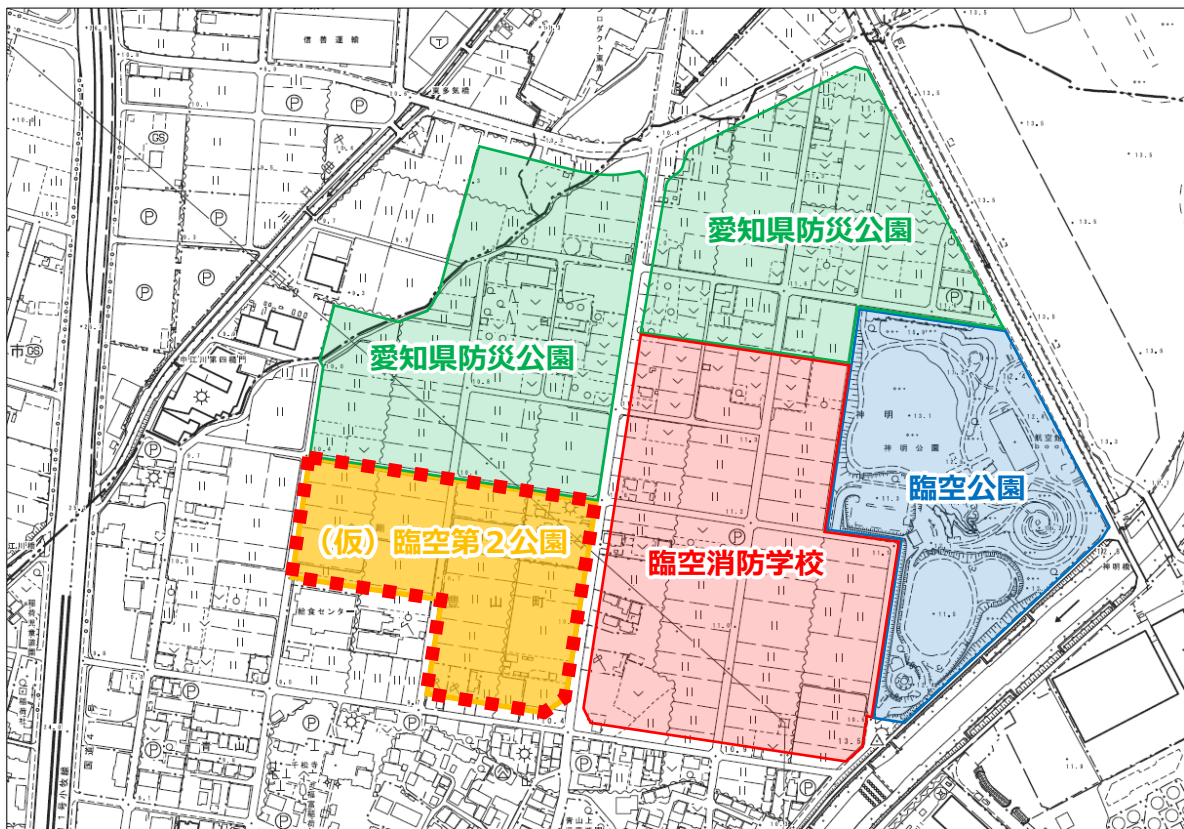
項目	概要	
所在地	西春日井郡豊山町大字青山字金剛地内	
面積	約 2.9ha	
法的土地利用規制	都市計画法	名古屋都市計画区域 市街化調整区域
	特定都市河川浸水被害対策法	特定都市河川流域（新川流域）

図表 1.2 計画地位置図



出典：国土地理院地図

図表 1.3 計画地位置図（詳細）



出典：豊山町都市計画基本図

2 前提条件の整理

2.1 上位関連計画の整理

2.1.1 豊山町第5次総合計画

策定年次	令和2(2020)年3月
計画期間	令和2(2020)年度から令和11(2029)年度
基本理念	小さくてキラリと輝くまちづくり
まちの将来像	一人ひとりが輝く暮らし豊かなアーバンビレッジ
まちづくりの重点目標	「人」がキラリと輝くまち 「暮らし」がキラリと輝くまち 「産業」がキラリと輝くまち
土地利用構想基本方針	<p>基本方針1 住環境の維持・改善 住民が安心して快適に生活できるよう、市街地の安全・安心の向上を図り、コンパクトで暮らしやすく、魅力ある住環境の維持・改善に努めます。</p> <p>基本方針2 地域の強みを活かした土地利用の推進 地域の強みを活かし、周辺環境に配慮しつつ、地域の活力を生み出す土地利用を推進します。</p> <p>基本方針3 都市と自然の調和・共存 神明公園や大山川を利用して、自然と共生した土地利用を進めるとともに、市街地の自然の保全・創出に努めます。 また、農地の持つ保水機能や、美しい自然環境を創出する多面的な価値を強化し、都市と自然が調和・共存した土地利用を進めます。</p> <p style="text-align: center;">土地利用構想図</p>

2 前提条件の整理

	<table border="1"> <tbody> <tr> <td data-bbox="528 192 794 264">○広域交流拠点 </td> <td data-bbox="794 192 1439 264">名古屋空港旧国際線旅客ターミナル地区の集客施設を中心に、町内外から多くの人々が集い、交流する拠点として位置付けます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="528 264 794 336">○先端産業振興拠点 </td> <td data-bbox="794 264 1439 336">空港ターミナル地区と周辺の工業地区を中心に、航空宇宙産業と空港関連機能が集積した先端産業の拠点として位置付けます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="528 336 794 407">○食の流通拠点 </td> <td data-bbox="794 336 1439 407">北部市場周辺の食品関連産業による、雇用、にぎわいの拠点として位置付けます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="528 407 794 479">○産業機能拠点 </td> <td data-bbox="794 407 1439 479">幹線道路のアクセス利便性を活かし、産業機能集積の拠点として位置付けます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="528 479 794 551">○地域商業拠点 </td> <td data-bbox="794 479 1439 551">地域の主要な幹線道路の結節点に位置する既存の商業施設を中心に、住民の日常生活を支える商業機能を備えた拠点として位置付けます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="528 551 794 658">○コミュニティ拠点 </td> <td data-bbox="794 551 1439 658">役場・社会教育センター周辺地区において、様々な住民活動の場として、また、路線バスの結節点として、住民・在勤者が集い、交流するコミュニティの拠点として位置付けます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="528 658 794 730">○憩いと交流の拠点 </td> <td data-bbox="794 658 1439 730">新たな防災機能を備えた公園及び交流に必要な機能・施設により、住民・来訪者の憩いと交流の拠点として位置付けます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="528 730 794 873">○広域防災拠点 </td> <td data-bbox="794 730 1439 873">航空自衛隊、民間航空当の輸送機能を有する空港と防災機能を備えた公園等が一体となり、大規模災害時に全国からの人員や物資等の支援を受け入れ、県内の被災地域や地域の防災活動拠点に迅速かつ的確に供給する広域防災拠点として位置付けます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="528 873 794 1424">○広域交通軸・地域交通軸</td> <td data-bbox="794 873 1439 1424"> <p>広域圏や近隣市町との人、物、情報の活発な交流を支える広域ネットワークとして、国道41号と名濃道路を広域交通軸と位置付けます。名古屋空港へのアクセスとなるとともに、町内の主要な骨格道路であり、バスや自転車、歩行者の主軸となり、各地域や拠点を結ぶネットワークとして各県道を地域交通軸と位置付けます。</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td data-bbox="568 1066 794 1137"> <ul style="list-style-type: none"> ・にぎわい軸  </td> <td data-bbox="794 1066 1439 1137">広域交流拠点や地域商業拠点、食の流通拠点を結び、主要な路線バスが通行するにぎわいの軸と位置付けます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="568 1137 794 1245"> <ul style="list-style-type: none"> ・商業・オフィス軸  </td> <td data-bbox="794 1137 1439 1245">沿道立地型の商業・オフィス機能の立地誘導を図る商業・オフィス軸と位置付けます。特に、先端産業振興拠点周辺においては、先端産業を中心としたオフィス軸と位置付けます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="568 1245 794 1352"> <ul style="list-style-type: none"> ・生活交流軸  </td> <td data-bbox="794 1245 1439 1352">徒歩や自転車で安全に移動ができ、コミュニティ拠点等を中心に、住民の生活利便性や交流を支える様々な都市機能が集積した生活交流軸と位置付けます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="568 1352 794 1424"> <ul style="list-style-type: none"> ○水と緑の軸  </td> <td data-bbox="794 1352 1439 1424">神明公園を拠点として、大山川の水辺空間を活かし、徒歩や自転車で安全に通行ができ、住民の憩いの場となる水と緑の軸と位置付けます。</td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="209 1424 456 1594"> <p>基本施策 公園・緑地</p> </td> <td data-bbox="456 1424 1439 1594"> <p>(1) 公園・緑地の整備 [施策の展開方向] ① 地域の特性に配慮しながら、新たな公園整備の検討や既存公園の拡張を進めます。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="209 1594 456 1805"> <p>基本施策 消防・防災</p> </td> <td data-bbox="456 1594 1439 1805"> <p>(2) 防災体制の整備 [施策の展開方向] ② 公共施設への蓄電池・自家発電機などの防災資器材の整備による避難所機能の充実強化、新たな避難施設や備蓄倉庫の設置により災害対応能力の向上を図ります。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	○広域交流拠点 	名古屋空港旧国際線旅客ターミナル地区の集客施設を中心に、町内外から多くの人々が集い、交流する拠点として位置付けます。	○先端産業振興拠点 	空港ターミナル地区と周辺の工業地区を中心に、航空宇宙産業と空港関連機能が集積した先端産業の拠点として位置付けます。	○食の流通拠点 	北部市場周辺の食品関連産業による、雇用、にぎわいの拠点として位置付けます。	○産業機能拠点 	幹線道路のアクセス利便性を活かし、産業機能集積の拠点として位置付けます。	○地域商業拠点 	地域の主要な幹線道路の結節点に位置する既存の商業施設を中心に、住民の日常生活を支える商業機能を備えた拠点として位置付けます。	○コミュニティ拠点 	役場・社会教育センター周辺地区において、様々な住民活動の場として、また、路線バスの結節点として、住民・在勤者が集い、交流するコミュニティの拠点として位置付けます。	○憩いと交流の拠点 	新たな防災機能を備えた公園及び交流に必要な機能・施設により、住民・来訪者の憩いと交流の拠点として位置付けます。	○広域防災拠点 	航空自衛隊、民間航空当の輸送機能を有する空港と防災機能を備えた公園等が一体となり、大規模災害時に全国からの人員や物資等の支援を受け入れ、県内の被災地域や地域の防災活動拠点に迅速かつ的確に供給する広域防災拠点として位置付けます。	○広域交通軸・地域交通軸	<p>広域圏や近隣市町との人、物、情報の活発な交流を支える広域ネットワークとして、国道41号と名濃道路を広域交通軸と位置付けます。名古屋空港へのアクセスとなるとともに、町内の主要な骨格道路であり、バスや自転車、歩行者の主軸となり、各地域や拠点を結ぶネットワークとして各県道を地域交通軸と位置付けます。</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td data-bbox="568 1066 794 1137"> <ul style="list-style-type: none"> ・にぎわい軸  </td> <td data-bbox="794 1066 1439 1137">広域交流拠点や地域商業拠点、食の流通拠点を結び、主要な路線バスが通行するにぎわいの軸と位置付けます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="568 1137 794 1245"> <ul style="list-style-type: none"> ・商業・オフィス軸  </td> <td data-bbox="794 1137 1439 1245">沿道立地型の商業・オフィス機能の立地誘導を図る商業・オフィス軸と位置付けます。特に、先端産業振興拠点周辺においては、先端産業を中心としたオフィス軸と位置付けます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="568 1245 794 1352"> <ul style="list-style-type: none"> ・生活交流軸  </td> <td data-bbox="794 1245 1439 1352">徒歩や自転車で安全に移動ができ、コミュニティ拠点等を中心に、住民の生活利便性や交流を支える様々な都市機能が集積した生活交流軸と位置付けます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="568 1352 794 1424"> <ul style="list-style-type: none"> ○水と緑の軸  </td> <td data-bbox="794 1352 1439 1424">神明公園を拠点として、大山川の水辺空間を活かし、徒歩や自転車で安全に通行ができ、住民の憩いの場となる水と緑の軸と位置付けます。</td> </tr> </tbody> </table>	<ul style="list-style-type: none"> ・にぎわい軸  	広域交流拠点や地域商業拠点、食の流通拠点を結び、主要な路線バスが通行するにぎわいの軸と位置付けます。	<ul style="list-style-type: none"> ・商業・オフィス軸  	沿道立地型の商業・オフィス機能の立地誘導を図る商業・オフィス軸と位置付けます。特に、先端産業振興拠点周辺においては、先端産業を中心としたオフィス軸と位置付けます。	<ul style="list-style-type: none"> ・生活交流軸  	徒歩や自転車で安全に移動ができ、コミュニティ拠点等を中心に、住民の生活利便性や交流を支える様々な都市機能が集積した生活交流軸と位置付けます。	<ul style="list-style-type: none"> ○水と緑の軸  	神明公園を拠点として、大山川の水辺空間を活かし、徒歩や自転車で安全に通行ができ、住民の憩いの場となる水と緑の軸と位置付けます。	<p>基本施策 公園・緑地</p>	<p>(1) 公園・緑地の整備 [施策の展開方向] ① 地域の特性に配慮しながら、新たな公園整備の検討や既存公園の拡張を進めます。</p>	<p>基本施策 消防・防災</p>	<p>(2) 防災体制の整備 [施策の展開方向] ② 公共施設への蓄電池・自家発電機などの防災資器材の整備による避難所機能の充実強化、新たな避難施設や備蓄倉庫の設置により災害対応能力の向上を図ります。</p>
○広域交流拠点 	名古屋空港旧国際線旅客ターミナル地区の集客施設を中心に、町内外から多くの人々が集い、交流する拠点として位置付けます。																														
○先端産業振興拠点 	空港ターミナル地区と周辺の工業地区を中心に、航空宇宙産業と空港関連機能が集積した先端産業の拠点として位置付けます。																														
○食の流通拠点 	北部市場周辺の食品関連産業による、雇用、にぎわいの拠点として位置付けます。																														
○産業機能拠点 	幹線道路のアクセス利便性を活かし、産業機能集積の拠点として位置付けます。																														
○地域商業拠点 	地域の主要な幹線道路の結節点に位置する既存の商業施設を中心に、住民の日常生活を支える商業機能を備えた拠点として位置付けます。																														
○コミュニティ拠点 	役場・社会教育センター周辺地区において、様々な住民活動の場として、また、路線バスの結節点として、住民・在勤者が集い、交流するコミュニティの拠点として位置付けます。																														
○憩いと交流の拠点 	新たな防災機能を備えた公園及び交流に必要な機能・施設により、住民・来訪者の憩いと交流の拠点として位置付けます。																														
○広域防災拠点 	航空自衛隊、民間航空当の輸送機能を有する空港と防災機能を備えた公園等が一体となり、大規模災害時に全国からの人員や物資等の支援を受け入れ、県内の被災地域や地域の防災活動拠点に迅速かつ的確に供給する広域防災拠点として位置付けます。																														
○広域交通軸・地域交通軸	<p>広域圏や近隣市町との人、物、情報の活発な交流を支える広域ネットワークとして、国道41号と名濃道路を広域交通軸と位置付けます。名古屋空港へのアクセスとなるとともに、町内の主要な骨格道路であり、バスや自転車、歩行者の主軸となり、各地域や拠点を結ぶネットワークとして各県道を地域交通軸と位置付けます。</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td data-bbox="568 1066 794 1137"> <ul style="list-style-type: none"> ・にぎわい軸  </td> <td data-bbox="794 1066 1439 1137">広域交流拠点や地域商業拠点、食の流通拠点を結び、主要な路線バスが通行するにぎわいの軸と位置付けます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="568 1137 794 1245"> <ul style="list-style-type: none"> ・商業・オフィス軸  </td> <td data-bbox="794 1137 1439 1245">沿道立地型の商業・オフィス機能の立地誘導を図る商業・オフィス軸と位置付けます。特に、先端産業振興拠点周辺においては、先端産業を中心としたオフィス軸と位置付けます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="568 1245 794 1352"> <ul style="list-style-type: none"> ・生活交流軸  </td> <td data-bbox="794 1245 1439 1352">徒歩や自転車で安全に移動ができ、コミュニティ拠点等を中心に、住民の生活利便性や交流を支える様々な都市機能が集積した生活交流軸と位置付けます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="568 1352 794 1424"> <ul style="list-style-type: none"> ○水と緑の軸  </td> <td data-bbox="794 1352 1439 1424">神明公園を拠点として、大山川の水辺空間を活かし、徒歩や自転車で安全に通行ができ、住民の憩いの場となる水と緑の軸と位置付けます。</td> </tr> </tbody> </table>	<ul style="list-style-type: none"> ・にぎわい軸  	広域交流拠点や地域商業拠点、食の流通拠点を結び、主要な路線バスが通行するにぎわいの軸と位置付けます。	<ul style="list-style-type: none"> ・商業・オフィス軸  	沿道立地型の商業・オフィス機能の立地誘導を図る商業・オフィス軸と位置付けます。特に、先端産業振興拠点周辺においては、先端産業を中心としたオフィス軸と位置付けます。	<ul style="list-style-type: none"> ・生活交流軸  	徒歩や自転車で安全に移動ができ、コミュニティ拠点等を中心に、住民の生活利便性や交流を支える様々な都市機能が集積した生活交流軸と位置付けます。	<ul style="list-style-type: none"> ○水と緑の軸  	神明公園を拠点として、大山川の水辺空間を活かし、徒歩や自転車で安全に通行ができ、住民の憩いの場となる水と緑の軸と位置付けます。																						
<ul style="list-style-type: none"> ・にぎわい軸  	広域交流拠点や地域商業拠点、食の流通拠点を結び、主要な路線バスが通行するにぎわいの軸と位置付けます。																														
<ul style="list-style-type: none"> ・商業・オフィス軸  	沿道立地型の商業・オフィス機能の立地誘導を図る商業・オフィス軸と位置付けます。特に、先端産業振興拠点周辺においては、先端産業を中心としたオフィス軸と位置付けます。																														
<ul style="list-style-type: none"> ・生活交流軸  	徒歩や自転車で安全に移動ができ、コミュニティ拠点等を中心に、住民の生活利便性や交流を支える様々な都市機能が集積した生活交流軸と位置付けます。																														
<ul style="list-style-type: none"> ○水と緑の軸  	神明公園を拠点として、大山川の水辺空間を活かし、徒歩や自転車で安全に通行ができ、住民の憩いの場となる水と緑の軸と位置付けます。																														
<p>基本施策 公園・緑地</p>	<p>(1) 公園・緑地の整備 [施策の展開方向] ① 地域の特性に配慮しながら、新たな公園整備の検討や既存公園の拡張を進めます。</p>																														
<p>基本施策 消防・防災</p>	<p>(2) 防災体制の整備 [施策の展開方向] ② 公共施設への蓄電池・自家発電機などの防災資器材の整備による避難所機能の充実強化、新たな避難施設や備蓄倉庫の設置により災害対応能力の向上を図ります。</p>																														

2.1.2 豊山町都市計画マスタープラン

策定年次	令和2（2020）年3月
計画期間	令和2（2020）年度から令和12（2030）年度
基本理念	小さくて キラリ と輝くまちづくり
まちの将来像	一人ひとりが輝く 暮らし豊かな アーバンビレッジ
将来都市構造	<p>今後のまちづくりに向けた将来都市構造の考え方を明らかにするため、本町の構成要素である「ゾーン」、「拠点」、「軸」の考えを以下に示します。そして、この将来都市構造を基に、都市整備の方針及び地域別構想に展開します。</p> <p style="text-align: center;">将来都市構造図</p>

都市整備 の方 針	【ゾーン】		
		住宅ゾーン	コンパクトで暮らしやすく、安全な居住環境の維持・増進を図る地域
		商業ゾーン	土地の高度利用を図り、商業などの利便性を高めるための土地利用を誘導する地域
		産業ゾーン(物流系・航空宇宙産業系)	工業・物流用地としての利便性を高めるための土地利用を誘導する地域
		産業誘導ゾーン	都市活力の強化に向け、先端産業や新たな産業系の土地利用を誘導する地域。周辺の環境に配慮した地区の形成をめざします。
		農地ゾーン	農地を保全する地域
		防災・緑地ゾーン	消防・防災教育や地域防災の人材育成機能と憩いと交流のための公園・緑地機能を整備・保全する地域
	【拠点】		
		広域交流拠点	空港及び周辺集客施設を核に、町内外から多くの人が集い、ふれあいや交流を通じた活力を生み出し、南側の市街化調整区域は、今後の地域振興に役立てるためのリザーブ用地と位置づけます。
		先端産業振興拠点	県営名古屋空港との一体性を活かした先端技術産業空間として、地域の活力を牽引する工業機能の維持・増進を図ります。
	食の流通拠点	名古屋市中心部卸売市場北部市場周辺については、産業としての物流機能の他、消費者の視点から、飲食・小売機能も有する複合した拠点としての位置づけを継続し、その機能の維持・増進を図ります。	
	コミュニティ拠点	役場・社会教育センターなどの公共施設が立地する地区は、様々な住民活動の場として、また、路線バスの結節点として、住民・在勤者が集い、交流するコミュニティの拠点として位置づけます。	
	地域商業拠点	住民の日常生活を支える商業機能を備えた拠点として、その機能の維持・増進を図ります。	
	憩いと交流の拠点	新たな防災機能を備えた公園及び交流に必要な機能・施設により、住民・来訪者の憩いと交流の拠点として位置づけます。	
	広域防災拠点	航空自衛隊、民間航空等の輸送機能を有する空港と防災機能を備えた公園等が一体となり、大規模災害時に全国からの人員や物資等の支援を受け入れ、県内の被災地域や地域の防災活動拠点に迅速かつ確に供給する広域防災拠点機能を高めます。	
【軸】			
	広域・地域交通軸	国道41号及び名濃道路は、県域をまたぐ広域交通軸、町内の各県道は、本町と周辺都市を結ぶ地域交通軸と位置づけます。	
	にぎわい軸	広域交流拠点や地域商業拠点、食の流通拠点を結び、主要な路線バスが通行するにぎわいの軸	
	商業・オフィス軸	国道41号沿線は沿道立地型とした、(都)空港中央線沿線は先端産業を中心とした商業とオフィスの軸	
	生活交流軸	徒歩や自転車ですぐに移動ができ、住民の生活利便性や交流を支える軸	
	水と緑の軸	水と緑に親しめる憩いの場となるよう、魅力ある空間として整備を推進する河川や緑道	
	(3) 都市施設（公園緑地）の整備方針		
	【公園緑地の方針】		
	都市公園		
	<p>既存の都市公園は、効率的かつ適切な維持管理に努め、安全性や利便性を確保し、町民の憩いの場、緑の拠点としての機能を推進します。</p> <p>また、町内に広く点在する児童遊園や運動施設、緑道等の既存施設については、公園を補完する施設として活用し、適切な維持管理に努め、街区公園・近隣公園の検討・整備を推進します。</p> <p>新規公園は、臨空(神明)公園と一体となって、憩いと交流によるにぎわいの空間として整備を促進します。また、名古屋空港、消防学校等と一体となって、大規模災害時の救援・物資輸送等の安全・安心となる機能を高めます。</p>		
	(6) 都市防災の整備方針		
	【都市防災の方針】		
	<p>災害発生時に備え、徒歩圏域（500m）に避難所が不足する地域に避難所となる施設の整備を推進します。</p>		

2.2 施設整備条件の把握

2.2.1 現況把握

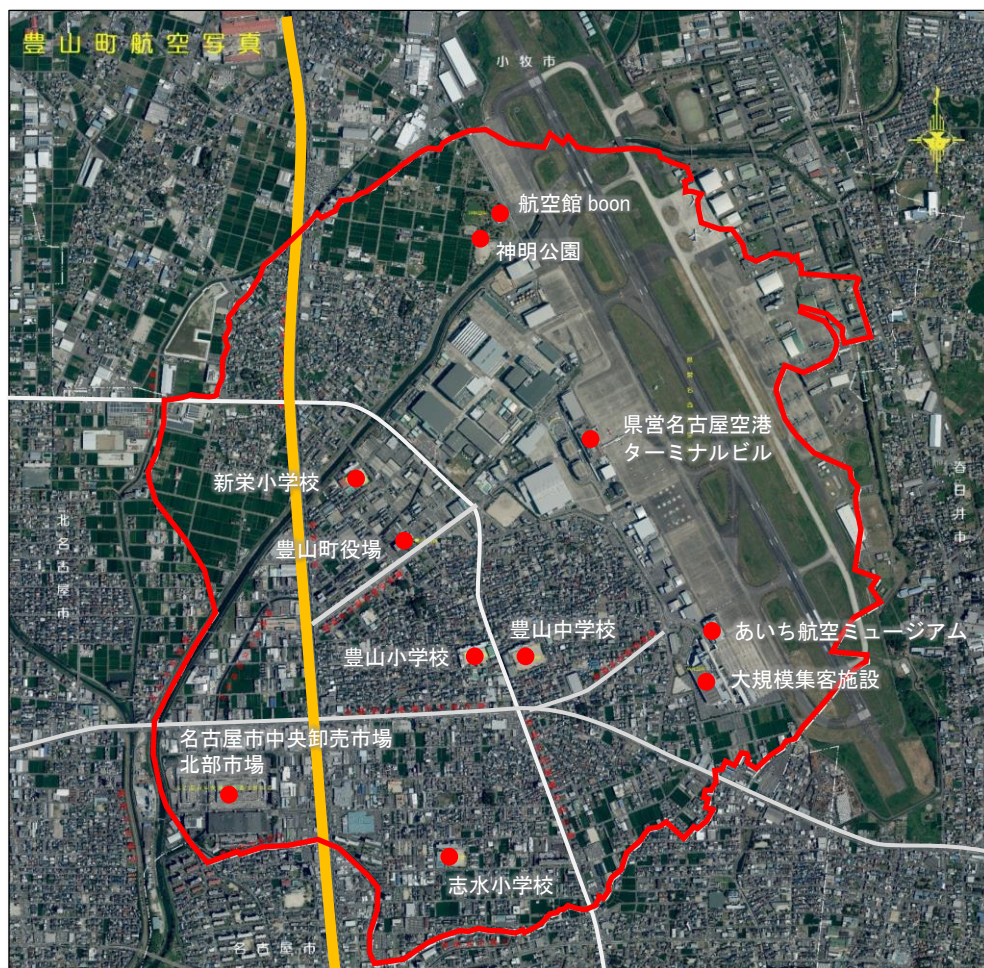
1) 計画条件の把握と整理

豊山町の特長として、名古屋市に隣接していることや、都市近郊にありながら広々とした空間を感じることができる、県営名古屋空港が立地していることなどが上げられる。

豊山町の主な特性

- ・ 県営名古屋空港が行政区域の約3分の1を占める“ヒコーキのまち”
- ・ 行政面積6.18km²の県内で一番小さな町
- ・ 名古屋市に隣接したベッドタウン
- ・ 国道41号及び名古屋高速が縦断しており、名古屋市都心部から20分ほどでアクセスできる
- ・ あいち航空ミュージアム、航空館boonなどの航空関連ミュージアムが立地
- ・ 空港の南端に大規模集客施設が立地し、家族連れで賑わっている
- ・ 国道41号西側に名古屋中央卸売市場北部市場が立地
- ・ 通常の飛行機のみならず、自衛隊機の離発着を眺めることができ、航空機の聖地としてアピールが考えられる。

図表 2.1 豊山町の主要施設位置図



豊山町周辺の観光施設として、犬山市に犬山城、明治村、リトルワールド等が立地し、長久手市にトヨタ博物館や愛・地球博記念公園（モリコロパーク）等の観光資源が立地している。
 なお、愛・地球博記念公園には2022年11月にジブリパークが開業した。

図表 2.2 豊山町周辺の主要観光施設位置図

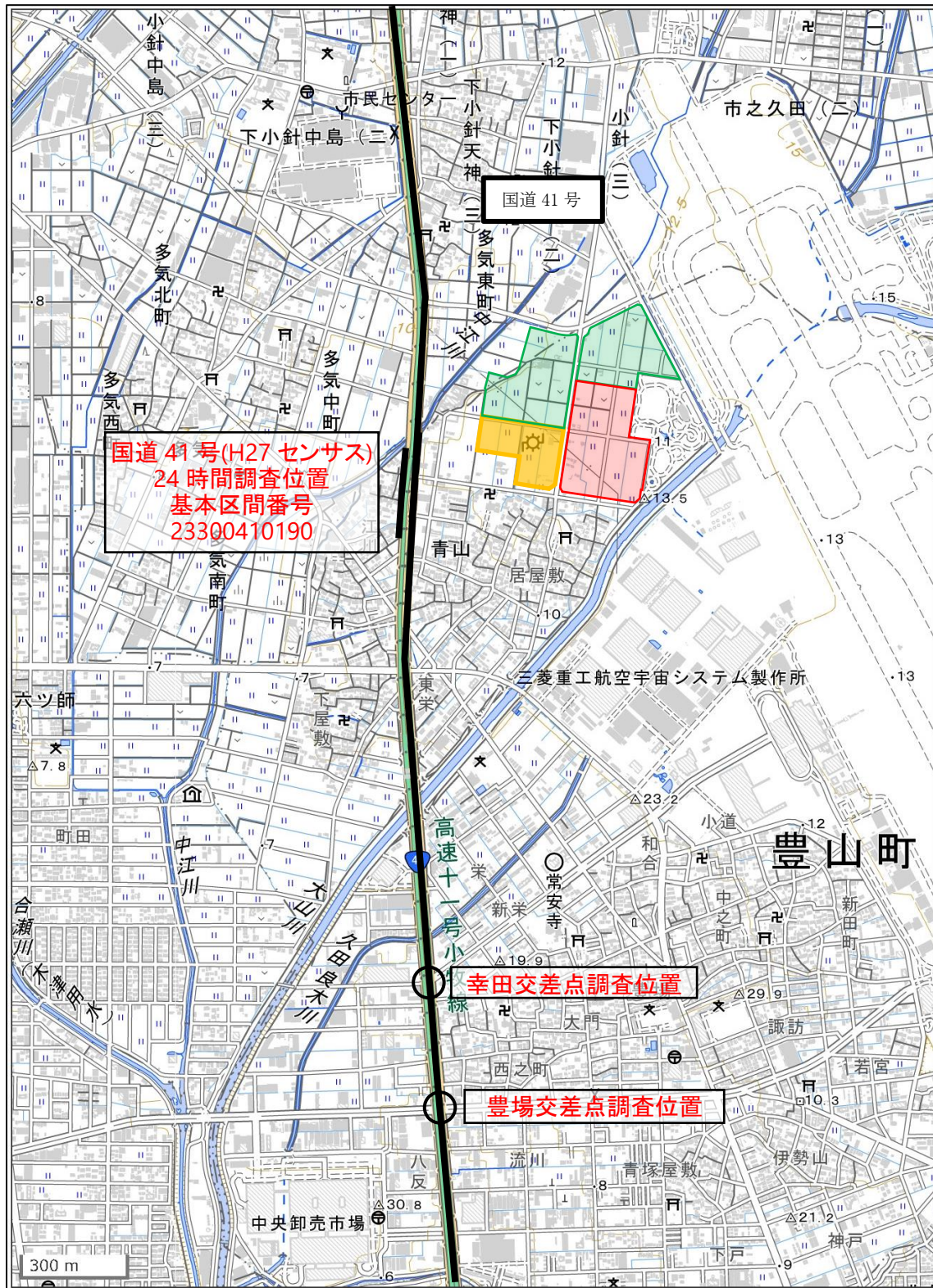


資料: 愛知県観光マップ

2.2.2 交通状況の把握

1) 主要幹線道路の断面交通量

計画対象地には西側に国道 41 号が通っており、以下の 3 か所で交通量を計測したデータがある。



出典：地理院地図データ（国土地理院）をもとに作成

図表 2.3 計画地周辺主要道路の交通量調査位置図

国道 41 号における現況交通量の調査結果は、以下に示すとおりであり、24 時間で約 56,000 台、12 時間で 35,000～39,000 台の交通量が計測されている。

図表 2.4 現況交通量 (国道 41 号)

	国道 41 号 (H27 センサ ス) 24 時間 基本区間番号 23300410190	幸田町交差点※ 1 平成 28 年 11 月 8 日 (火) 12 時間			豊場交差点※ 2 令和元年 11 月 12 日 (火) 12 時間		
		上り	下り	合計	上り	下り	合計
現況交通量	56,198	17,782	17,491	35,273	19,787	18,974	38,761
大型車 混入率		22.3	23.2		20.8	23.5	
小型車計	43,897	13,823	13,438	27,261	15,673	14,522	30,195
乗用車		10,608	10,279	20,887	12,252	11,322	23,574
小型貨物		3,215	3,159	6,374	3,421	3,200	6,621
大型車計	12,301	3,959	4,053	8,012	4,114	4,452	8,566
バス		55	51	106	194	217	411
普通貨物車		3,904	4,002	7,906	3,920	4,235	8,155

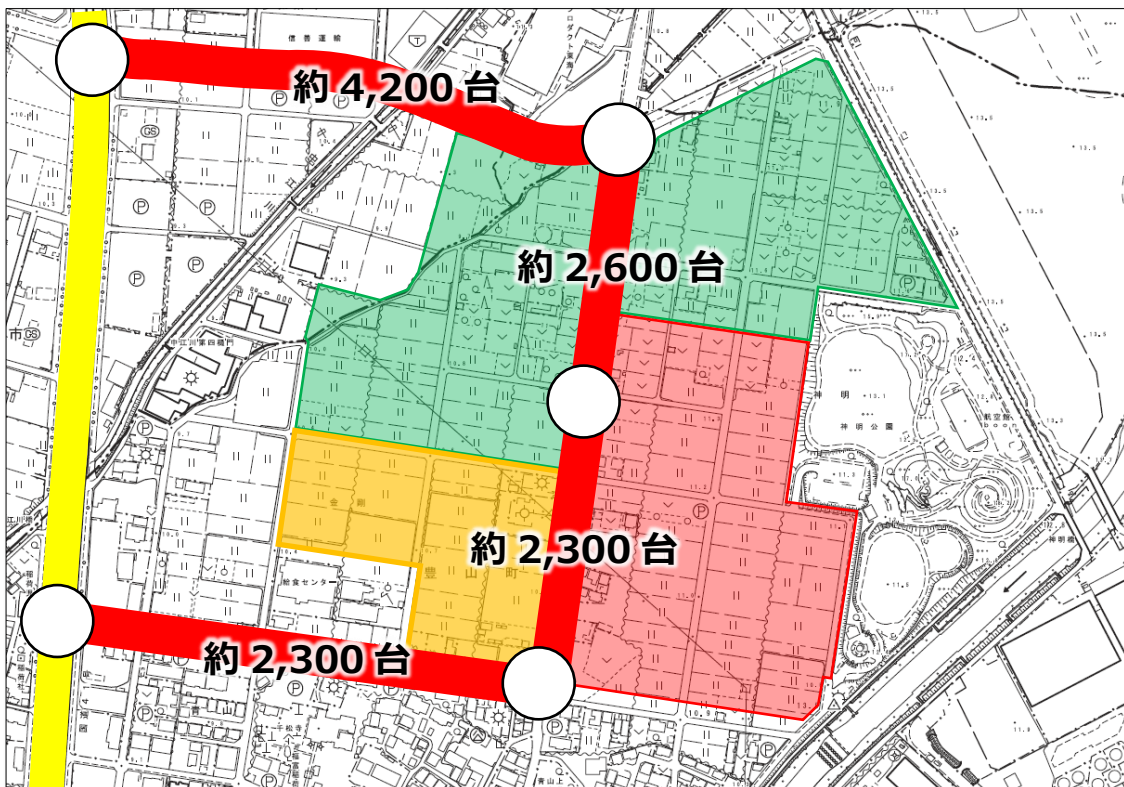
※1 出典：平成 28 年度名国管内交差点設計業務 (国土交通省名古屋国道事務所)

※2 出典：令和元年度名古屋国道管内交通量調査業務 (国土交通省名古屋国道事務所)

2) 新設県道の交通量推計

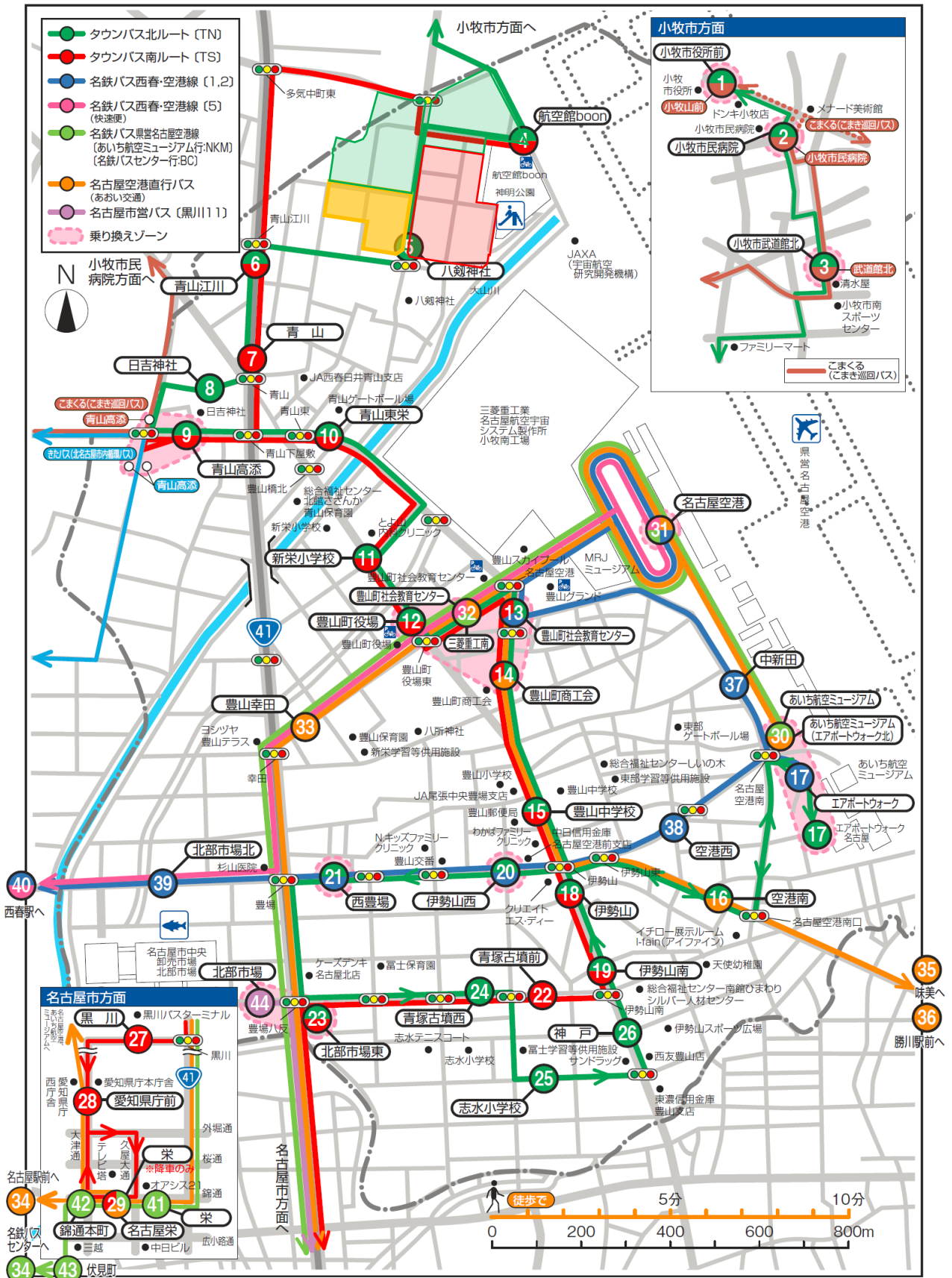
新設県道 (下図赤線) における将来交通量の推計結果は、以下に示すとおりであり、24 時間で小牧市側約 4,200 台、南側約 2,300 台の交通量が推定されている。

図表 2.5 交通量推計 (新設県道)



3) 周辺の公共交通

●バス路線図



図表 2.6 バス路線図

2.2.3 計画対象地の整備計画等の把握

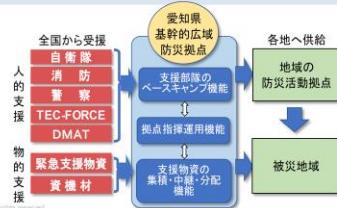
1) 愛知県基幹的広域防災拠点

愛知県では「基幹的広域防災拠点」を、令和7年度末の完成を目指して事業を進めている。

1) 計画の概要

南海トラフ地震・スーパー伊勢湾台風等広域かつ甚大な災害では、全国から人員・物資等の支援を受け入れ、被災地域や地域の防災活動拠点に迅速かつ的確に供給する後方支援が必要

県内130箇所の防災活動拠点の後方支援にあたる「基幹的広域防災拠点」を整備し、県内全域の災害応急体制を確保



2) 整備計画地

基幹的広域防災拠点の位置

位置選定の条件

1. 国の計画において、「大規模な広域防災拠点」に指定されている県営名古屋空港に隣接
2. 高速道路、空港とのダブルアクセスが可能
3. 地震時の液状化リスク等の災害リスクが低い



整備計画地を名古屋空港北西部「豊山町青山地区」に選定。

3) 災害時・平常時の機能

基幹的広域防災拠点【災害時の機能】

1. 拠点指揮運用機能

- ・防災拠点を指揮する本部機能として、新たに消防学校を整備。24時間危機管理体制を確保。愛知県・名古屋市の消防学校を統合し全県一貫した消防教育を行うことを検討。
- ・「広域医療搬送拠点臨時医療施設(SCU)」を設置。

2. 支援部隊ベースキャンプ機能

- ・全国から派遣される消防・警察・自衛隊等支援部隊のベースキャンプ用地を確保。

3. 支援物資集積・中継・分配機能

- ・国からのプッシュ型支援物資を県内全域に供給するターミナル施設を確保。
- ・県備蓄物資を保管

4. 中部圏の「基幹的な拠点」としても貢献

3) 災害時・平常時の機能

基幹的広域防災拠点【平常時の機能】

1. 消防学校を核とする愛知県の防災教育・人材育成拠点

- ・消防学校では、消防職員等に対し消防防災に関する教育訓練を実施。
- ・消防学校を地域に開放。訓練施設等を活用し、小中学生、自主防災組織、企業等向けに防災教育・人材育成を実施。

2. 地域の賑わいの創出

- ・公園として県民に広く開放。
- ・防災をはじめとした様々な分野のイベントを開催。
- ・防災ビジネス・スタートアップの拠点
- ・豊山町が整備する「賑わい施設」と一体感を保ち、県内外からの集客に寄与。

資料: 基幹的広域防災拠点説明会資料(令和3年11月)



資料: 基幹的広域防災拠点説明会資料(令和4年11月)

図表 2.7 愛知県基幹的広域防災拠点

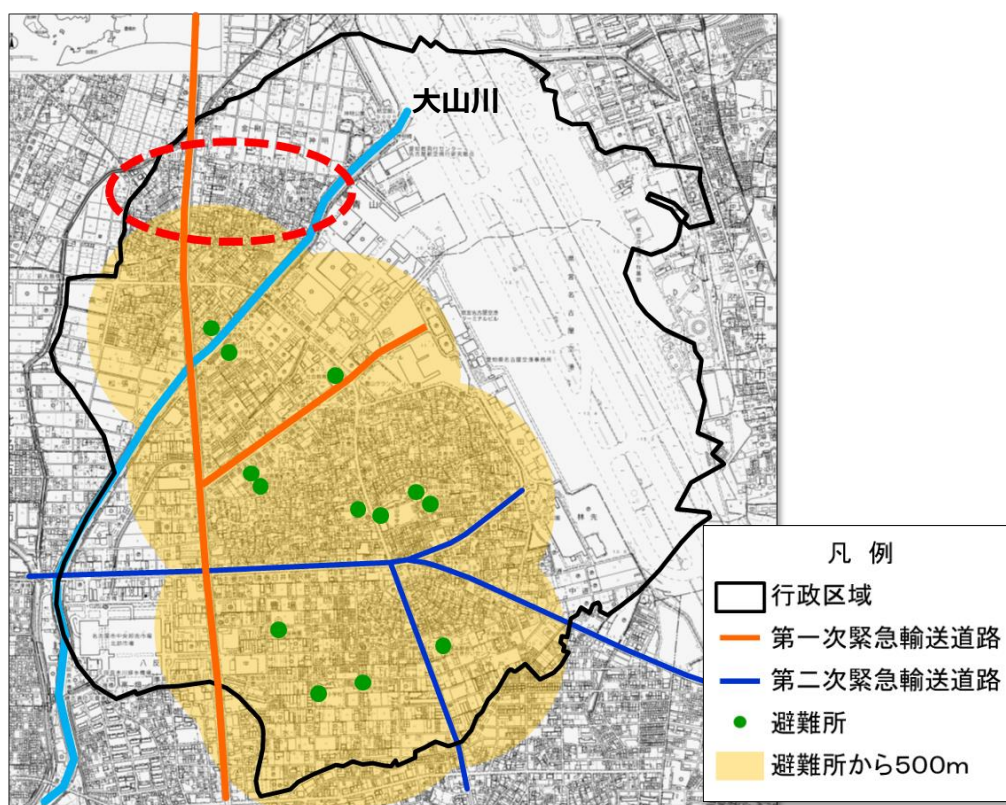
2.3 避難所の必要性

大山川以北の避難所の不足する地域への避難所整備にあたり、避難所として必要な規模や機能について整理する。

2.3.1 避難所の分布状況と徒歩圏域について

避難所の整備にあたり、本町における避難所（下図、緑色の丸）及び避難所からの徒歩圏域 500m 圏（下図、黄色着色の範囲）をみると、大山川北側の中稻、上西、上東地区の一部（下図、赤点線の区域）が避難所からの徒歩圏に含まれていないことから、新たな避難所の整備を行うこととする。

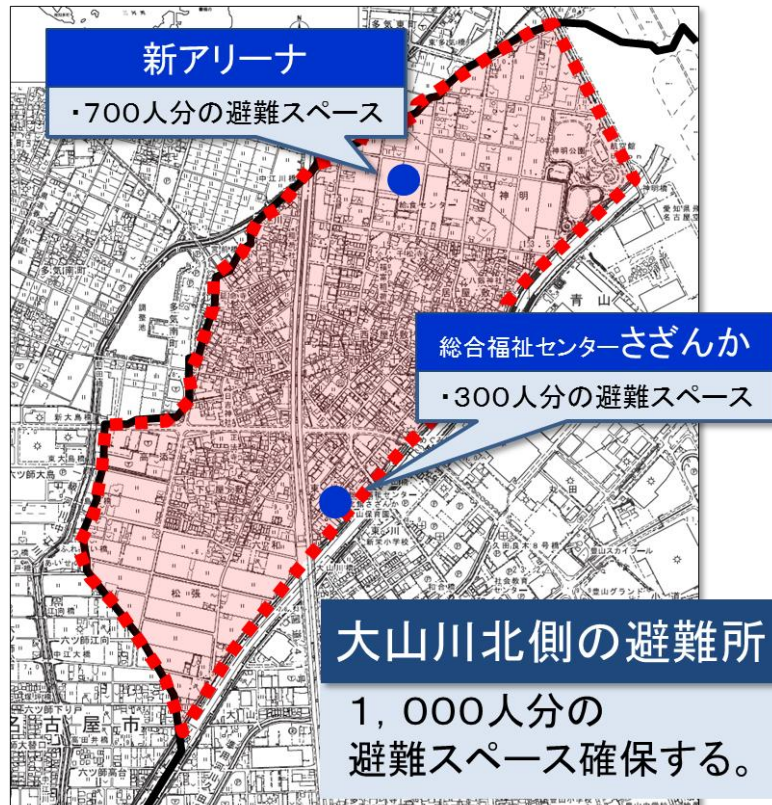
図表 2.8 避難所の分布状況と徒歩圏域



2.3.2 避難所の規模の考え方

- ・大山川南側の避難所と同程度の規模を確保
- ・大山川北側の人口約 3,000 人に対して、1,000 人が収容できる施設を確保
- ・既に避難所に指定されている総合福祉センター北館さざんかの想定収容人数 300 人を差し引き、新たに 700 人分のスペースを確保
- ・700 人が避難できるアリーナの規模としては、バスケットコート 2 面分のメインアリーナと多目的室としてのサブアリーナ、コミュニティスペース、防災倉庫、会議室などの施設が必要

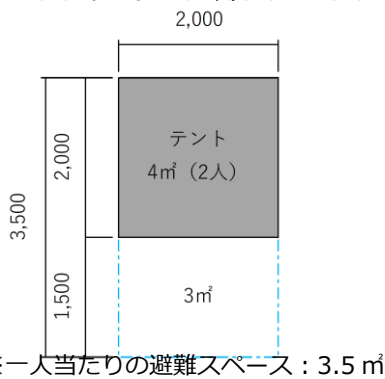
図表 2.9 避難所規模の考え方



2.3.3 避難所の規模

- ・コロナ禍における避難生活を踏まえて、現在本町の避難所ではテントを備蓄
- ・テントは2メートル四方のテントで、1基あたり2名が利用し、避難スペースにおける通路の幅を確保すると、1人当たり3.5㎡のスペースが必要となり、700人分として2,450㎡の面積が必要
- ・さらに、物資の搬入スペース等のその他の面積を含めると、避難者の生活スペースとして2,850㎡が必要

一人当たりの避難スペース



(テント1基あたり：2人収容 2m×2m=4㎡)

テント設置イメージ



- ・避難スペース（避難生活をする部屋約 2,850 m²）のほか、700人分の備蓄物資等を保存するための倉庫（約 180 m²）、その他の必要な諸室（約 3,300 m²）など併せて最低でも合計（延べ床）約 6,500 m²を確保する必要

用途	面積
避難生活をする部屋	約 2,850 m ²
備蓄倉庫	約 180 m ²
その他必要な諸室 <ul style="list-style-type: none"> ・運営本部会議等を開催する会議室 ・トイレ等の共用空間 ・要配慮者等（乳幼児、高齢者、病人等）のための諸室 ・シャワーや更衣室 ・相談や交流を行うための諸室 ・受付スペース ・感染症対策のための複数の動線 ・平時利用時の事務所機能や機械室 	約 3,300 m ²
合計	約 6,500 m ²

2.3.4 避難所に備えるべき機能

避難所として備えるべき機能として、災害時の情報収集連絡手段としての情報通信設備、避難生活を送るための電気ガス照明等の設備、要配慮者のためのスペース、マンホールトイレ、飲料水や生活のための水を確保する耐震性貯水槽などが考えられ、こうした機能を備えた施設となるよう検討を進めます。

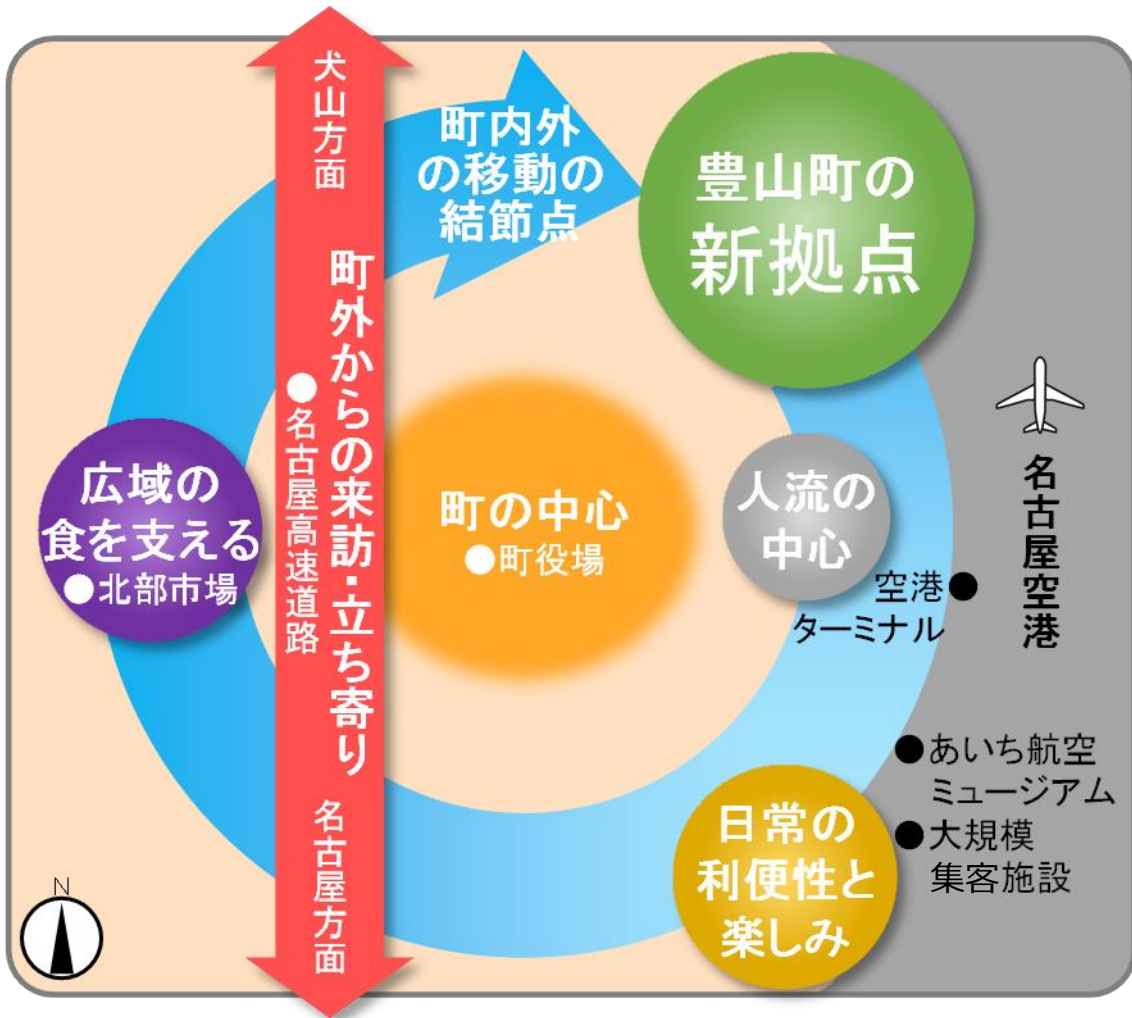
図表 2.10 避難所に備えるべき機能イメージ



3 基本コンセプト

対象地の立地特性や、ニーズ調査の結果、愛知県の施設整備の考え方等を踏まえ、新たに整備する施設の基本コンセプトを以下のように設定します。

図表 3.1 「まちづくり概念図」



3.1 基本コンセプト及び基本方向

以上を踏まえ、豊山町エリアにおける基本コンセプトを定めます。また、基本コンセプトごとに基本方向を整理します。

3.1.1 基本コンセプト及び基本方向の設定

基本コンセプト 災害時の安心を守る

被災した地域住民の安心安全を確保するために必要となる防災機能の強化

基本方向：災害時に700人の避難者を収容できる施設

基本方向：電気、水道等が遮断されても機能する施設

基本方向：豊山町の災害対応力の強化

基本方向：消防学校と連携した日常的な防災訓練・学習の実施

基本コンセプト 暮らしの憩いと潤いを高める

町民・来場者の暮らしを豊かにする場としてスポーツ機能、健康増進機能、憩いと交流機能を提供

基本方向：スポーツ・健康増進機能の提供

基本方向：施設利用者の交流と居心地の良さを提供する施設

基本方向：子どもから高齢者まで多世代が楽しめる施設

基本方向：公共交通の充実

基本コンセプト まちの魅力を発信する

豊山町の新たなまちの魅力創出のための都市機能整備と県営名古屋空港をはじめとする町の資源との相乗効果を生み出す魅力発信

基本方向：町民、地域事業者、JA等と連携したアンテナショップ等の展開

基本方向：愛知県防災公園及び神明公園と一体となり様々な大会・イベントが開催できる空間と施設整備

基本方向：カフェ等の飲食施設の整備

3.2 施設配置

3.2.1 配置方針

下記の3つの方針に基づき、賑わい施設及びアリーナ施設のゾーニングを行います。

方針1 町の憩いと賑わいの創出

- ・公園空間を中心にアリーナ施設及び賑わい施設を回遊できるよう整備を行い、地域住民のための憩いと交流の拠点を創出します。
- ・県営名古屋空港が近接する豊山町ならではの立地を活かし、空を感じられる施設とするため、北側の愛知県防災公園（広場）への開放的な見通しに配慮した施設・外構整備を行います。

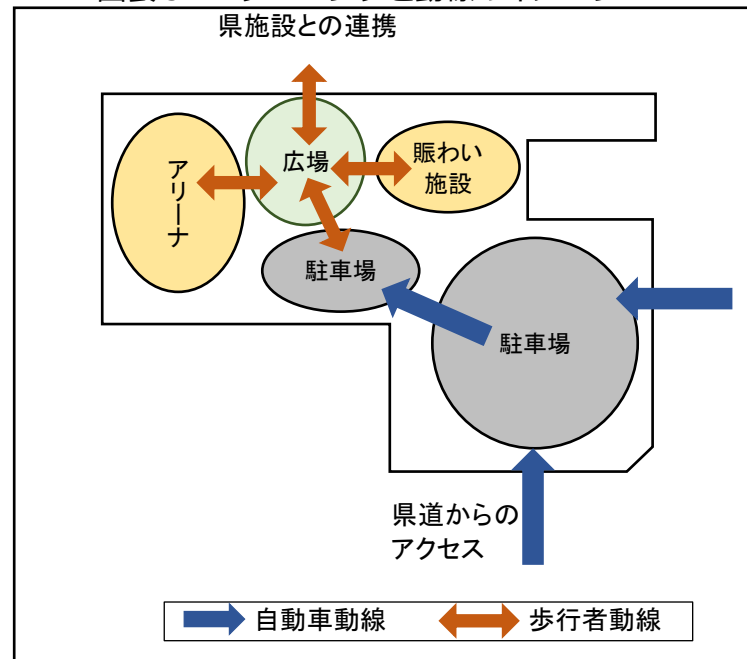
方針2 安心・安全に配慮した防災拠点

- ・多くの住民が利用するアリーナ施設は、非常時には700人収容可能な避難施設として利用します。
- ・地域住民が避難しやすいように敷地外からアリーナ施設にアクセスするための歩行者動線の整備を行います。
- ・賑わい施設駐車場を非常時に仮設住宅等の整備用地として利用が可能な施設整備を行います。

方針3 愛知県防災公園等との一体利用が可能な施設

- ・アリーナ及び賑わい施設のエントランスを広場に面して整備することで、敷地全体が一体感を感じられる施設構成とします。
- ・道路からの景観に配慮し、施設や植栽を整備します。

図表 3.2 ゾーニングと動線のイメージ

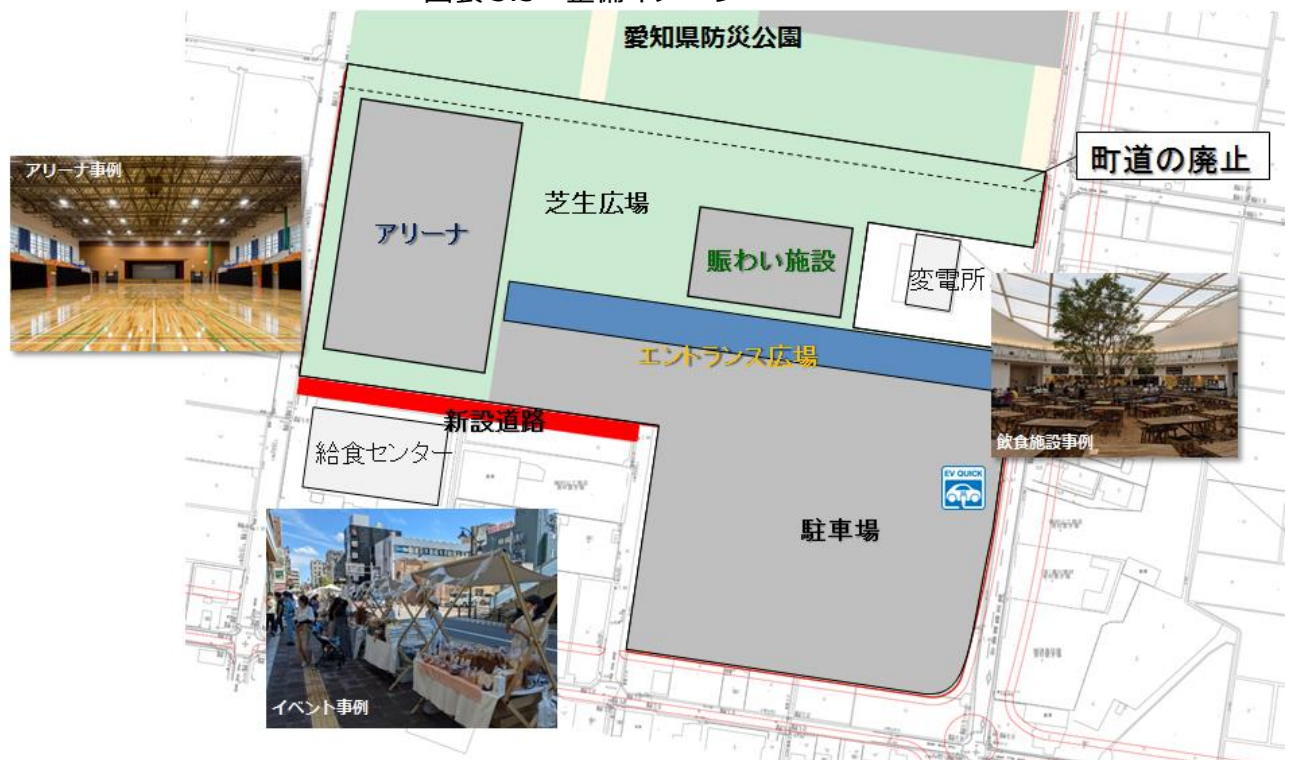


3.2.2 整備イメージ

豊山町エリアにおける整備イメージを以下に示します。

- ・新たに県道として整備される道路からアクセスしやすいように南東側に駐車場を配置
- ・西側にアリーナ、駐車場の北側に賑わい施設を配置
- ・“スポーツ・健康増進機能”として多目的利用が可能なアリーナ、多世代交流を促す交流スペース、健康増進施設、シャワー、温浴施設等を整備
- ・“休憩・交流機能”として、カフェ等の飲食施設、JA、地元事業者等による物販施設を整備
- ・エントランス広場等では、マルシェ等のイベントが開催できるような施設、バス交通の結節点機能の整備
- ・愛知県防災公園との間にある町道については、町道を廃止し、愛知県の公園と一体的な利用ができるよう公園内の園路として整備
- ・駐車場予定地の西側の道路については、途中で行き止まりとなってしまうため、迂回できるよう給食センターの北側に町道を新設

図表 3.3 整備イメージ



4 整備方針

4.1 整備手法

1) 都市公園の整備

本事業は都市公園として整備を予定しています。

都市公園の整備にあたっては、自治体の取り組みを国が支援する都市公園等事業（社会資本整備総合交付金等）の活用を目指します。

都市公園等事業（社会資本整備総合交付金等）は、地方公共団体が作成した社会資本総合整備計画に基づいて、地方公共団体が行う都市公園の整備について、交付要件に合致する場合に交付金を受けることが可能になるものです。

▼都市公園等事業（社会資本整備総合交付金等）の概要

		国の補助	都道府県・市町村の負担	交付要件
都道府県及び市町村の公園	用地	1/3	2/3	面積要件、総事業費要件、都市要件、対象事業内容等
	施設	1/2	1/2	

4.2 事業手法の検討

防災・賑わい施設整備、維持管理、運営においては、民間事業者のノウハウを活用することが想定されます。手法には、DB方式とDBO方式、PFI方式、P-PFI方式等があり、従来型と異なる主な特色としては、一括発注、性能発注、長期契約等が挙げられます。

施設の整備にあたってはこれらの方式から、隣接する県の事業と合わせて、最適な事業手法を選択し実施していくこととします。

▼民間活力を導入した事業手法と役割分担一覧表

	施設整備			運営	
	資金調達	設計	建設	維持管理	運営
従来型	公	公	公	公or民	公or民
DB方式	公	民	民	公or民	公or民
DBO方式	公	民	民	民	民
PFI方式	BTO方式	民	民	民	民
	BTM方式	民	民	民	公or民

※従来型 …… 基本設計、実施設計、施工、維持管理をそれぞれ個別に発注する方式

DB方式 …… 設計と施工を一括して発注する方式

DBO方式 …… 設計、施工に加え、施設の維持管理も包括する方式

PFI方式 …… 民間事業者（SPC）が調達する資金で設計、施工を行い、その後の維持管理、運営も併せて発注する方式

BTO方式 …… 施設完成後に施設の所有権を町に移管し、維持管理・運営を行う方式

BTM方式 …… 施設完成後に施設の所有権を町に移管し、維持管理のみ行う方式

5 資料編

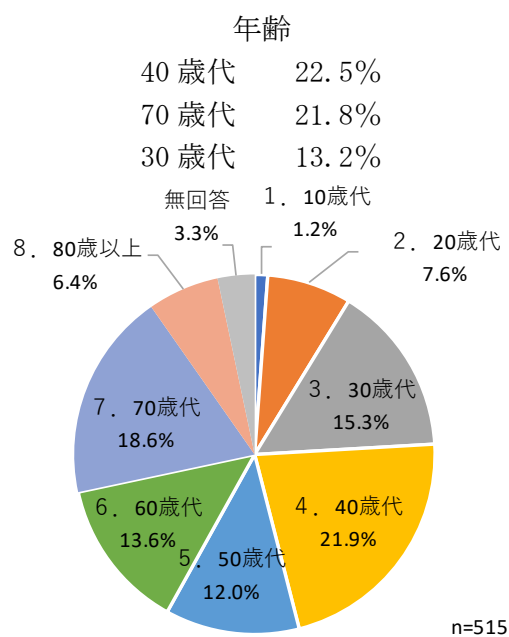
5.1 町民アンケート調査

5.1.1 調査概要

調査目的	賑わい施設における導入機能を検討するにあたり、町民のニーズを把握することを目的として実施
調査方法	地域：豊山町内全域 対象：10代～70代以上の各世代合計2,000人 抽出方法：住民基本台帳による無作為抽出 調査方法：郵送によるアンケート方法 調査時期：令和3年8月
調査概要	発送数2,000票 回収数515票 回収率25.8%

5.1.2 調査結果

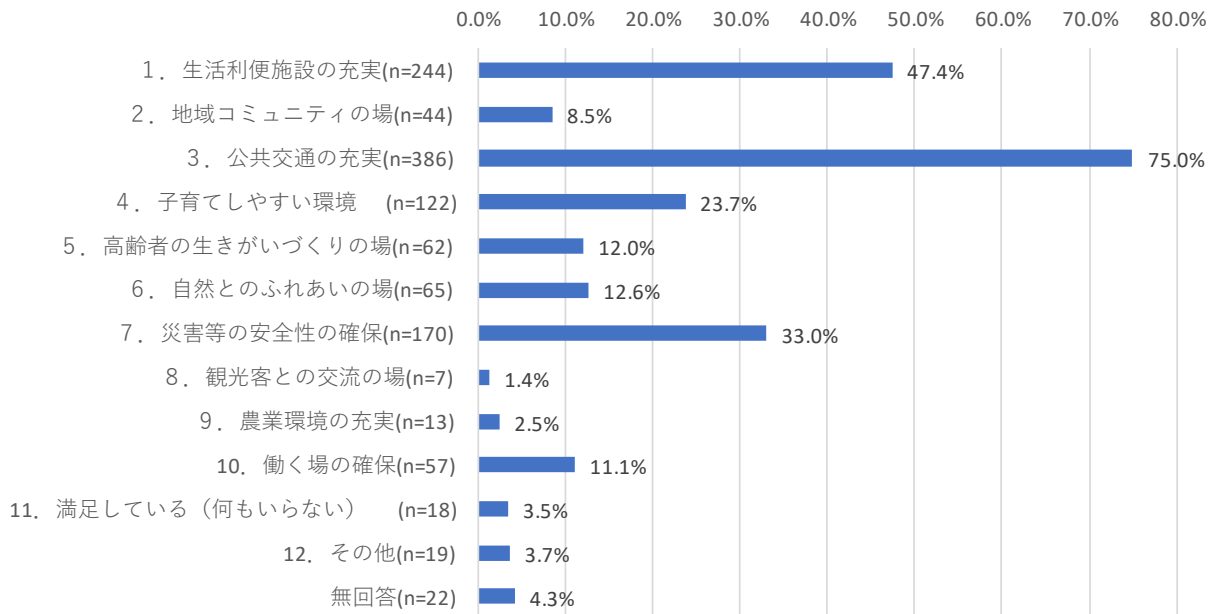
1) 回答者の属性



図表 5.1 回答者属性

2) 豊山町が、より住みやすいまちとなるために必要なものは

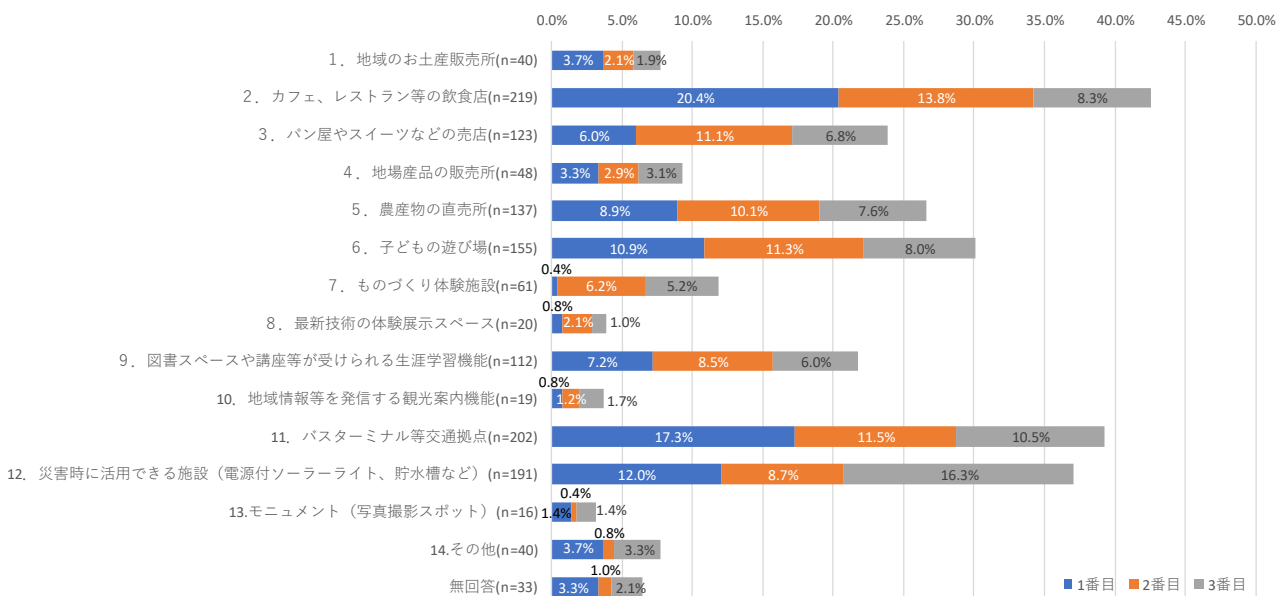
豊山町がより住みやすいまちとなるために必要なものについては、「3. 公共交通の充実」が75.0%と最も多く、次いで「1. 生活利便施設の充実」が47.4%、「7. 災害等の安全性の確保」が33.0%となっている。



図表 5.2 より住みやすいまちとなるために必要なもの

3) にぎわい施設について、必要だと思う施設・機能（取組み）

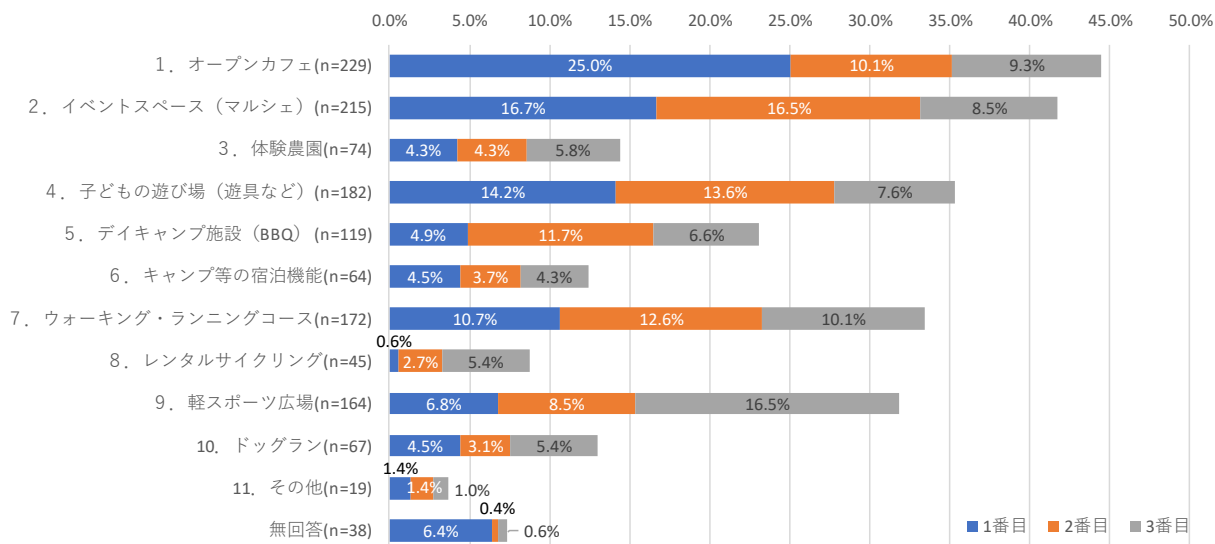
にぎわい施設に必要だと思う施設・機能（取組み）については、「2. カフェ、レストラン等の飲食店」が42.5%（1位、2位、3位合計 以下同様）と最も多く、次いで、「11. バスターミナル等交通拠点」が39.3%、「12. 災害時に活用できる施設（電源付ソーラーライト、貯水槽など）」が37.0%となっている。



図表 5.3 にぎわい施設に必要だと思う施設・機能（取組み）

4) にぎわい施設の広場・オープンスペースについて、必要だと思う施設・機能（取組み）

にぎわい施設の広場・オープンスペースに必要だと思う施設・機能（取組み）については、「1. オープンカフェ」が44.4%（1位、2位、3位合計 以下同様）と最も多く、次いで「2. イベントスペース（マルシェ）」が41.7%、さらに、「4. 子どもの遊び場（遊具など）」が35.4%、「7. ウォーキング・ランニングコース」が33.4%、「9. 軽スポーツ広場」が31.8%と続いている。



図表 5.4 にぎわい施設の広場・オープンスペースに必要だと思う施設・機能（取組み）

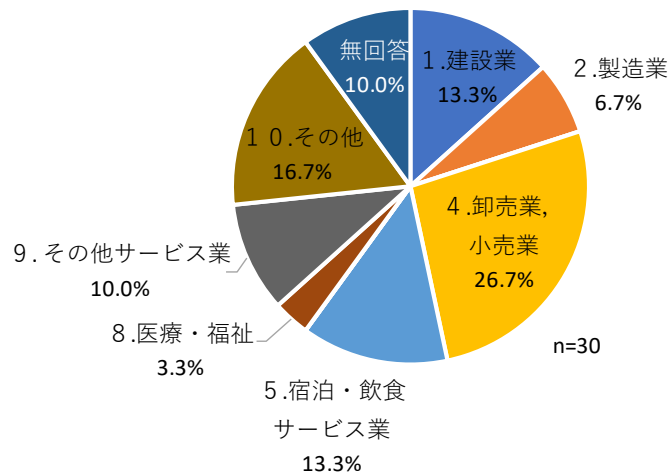
5.2 町内事業者ヒアリング

5.2.1 調査概要

調査目的	賑わい施設における導入機能を検討するにあたり、商工会等町内事業者のニーズを把握することを目的として実施
調査方法	対象：豊山町商工会会員 調査方法：郵送によるアンケート方法 調査時期：令和3年8月
調査概要	発送数 450 票 回収数 30 票 回収率 6.6%

5.2.2 調査結果

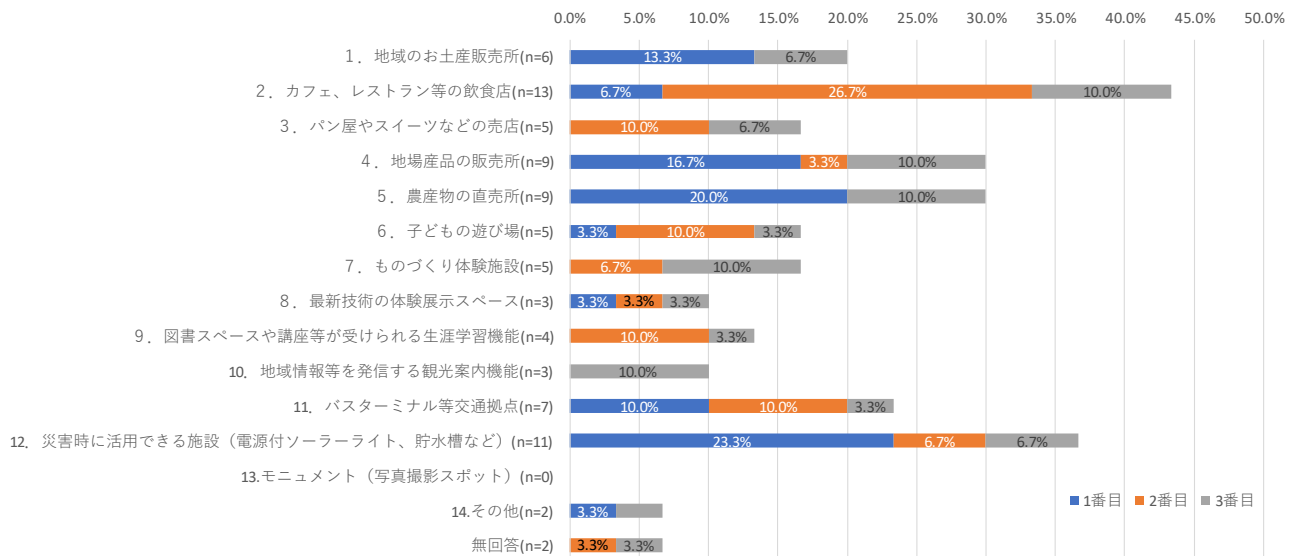
1) 回答者の属性



図表 5.5 業種

2) “にぎわい施設”にあるとよい（事業者として担いたい）と思う施設・機能（取組み）

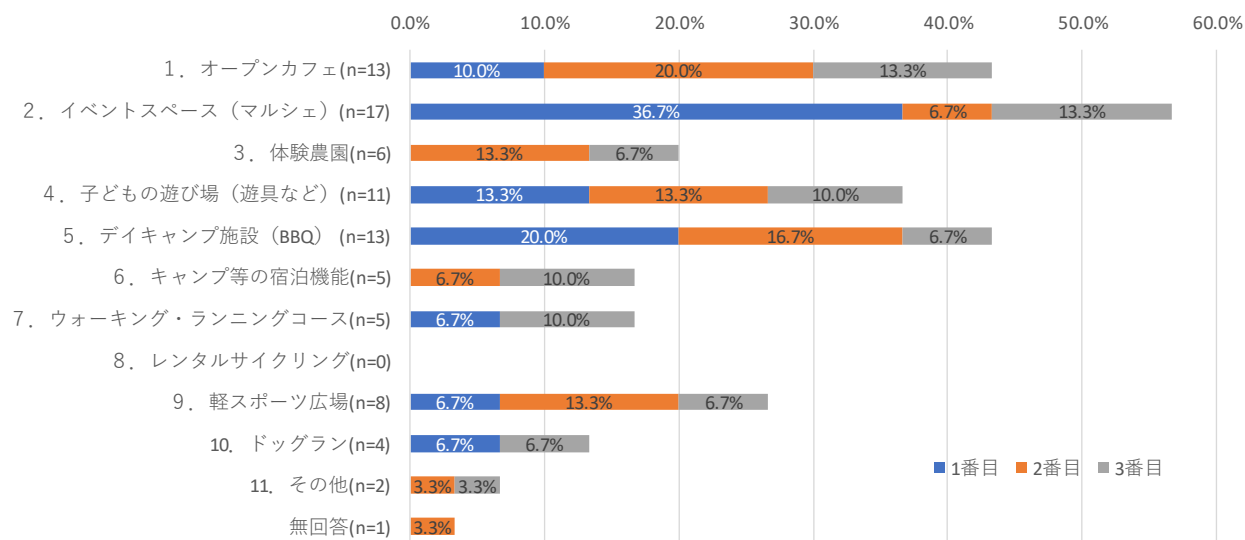
にぎわい施設に必要だと思う施設・機能（取組み）については、「2. カフェ、レストラン等の飲食店」が43.4%（1位、2位、3位合計 以下同様）と最も多く、次いで「12. 災害時に活用できる施設（電源付ソーラーライト、貯水槽など）」が36.7%、「4. 地場産品の販売所」と「5. 農産物の直売所」が30.0%となっている。



図表 5.6 にぎわい施設に必要だと思う施設・機能（取組み）

3) にぎわい施設の広場・オープンスペースについて、御社が必要だと思う施設・機能（取組み）

にぎわい施設の広場・オープンスペースに必要だと思う施設・機能（取組み）については、「2. イベントスペース（マルシェ）」が56.7%（1位、2位、3位合計 以下同様）と最も多く、次いで「1. オープンカフェ」と「5. デイキャンプ施設（BBQ）」が43.4%、「4. 子どもの遊び場（遊具など）」が36.6%となっている。



図表 5.7 にぎわい施設の広場・オープンスペースに必要だと思う施設・機能（取組み）

5.3 スポーツ団体ヒアリング

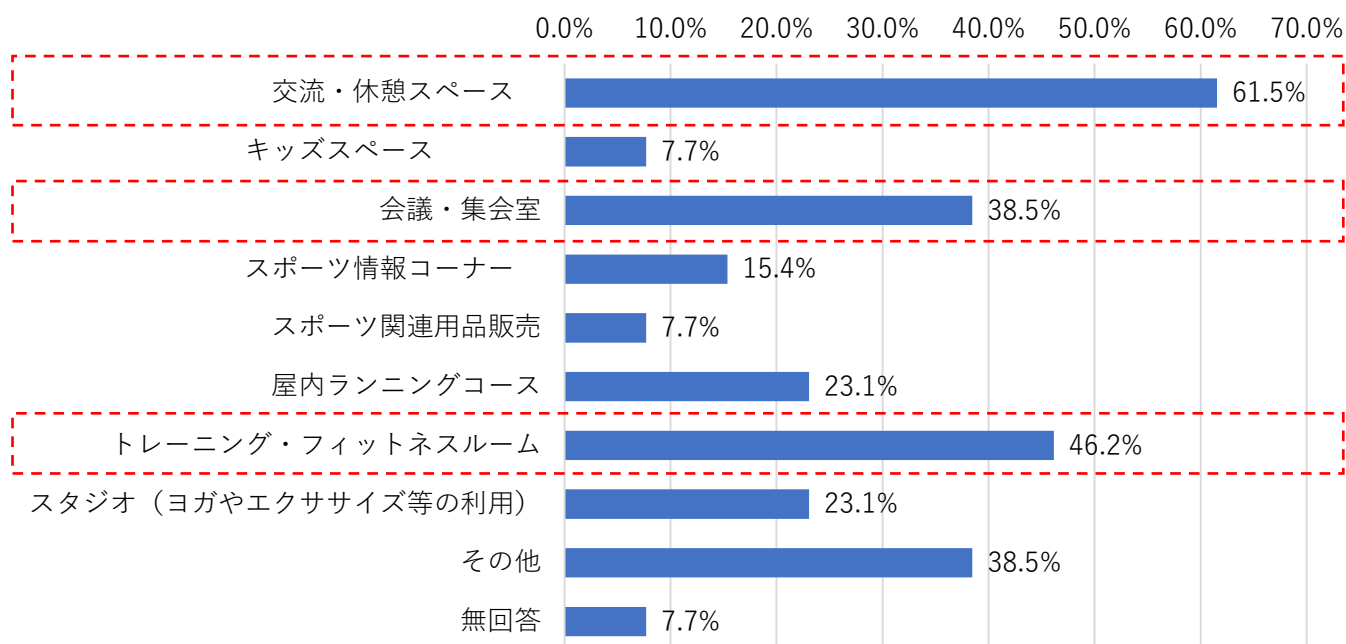
5.3.1 調査概要

調査目的	アリーナ整備の検討するにあたり、町内スポーツ団体の体育館へのニーズを把握することを目的として実施
調査方法	対象：豊山町体育協会加盟団体及びスポーツ少年団所属団体のうち「社会教育センターアリーナ」及び「小中学校体育館」を利用する団体 調査方法：郵送によるアンケート方法 調査時期：令和3年12月～令和4年1月
調査概要	発送数 13 票 回収数 13 票 回収率 100%

5.3.2 調査結果

1) 新アリーナにあったら良いと思う施設

新アリーナにあったら良いと思う施設については、「交流・休憩スペース」が61.5%と最も多く、次いで「トレーニング・フィットネスルーム」が46.2%、「会議・集会室」と「その他」が38.5%となっている。



図表 5.8 新アリーナにあったら良いと思う施設

5.4 町民討議会議

5.4.1 町民討議会議の概要

町民討議会議の目的	幅広い年代や多様な立場の町民に、まちづくりに関する特定のテーマについて自由に討議する機会を提供することにより、 ① まちづくりへの参画意識を醸成し、対話と協働によるまちづくりの実現に資する。 ② 協働のまちづくりに参加する住民を発掘する。 ③ 町政への関心を高める。
テーマ	「にぎわいあふれる未来のとよやま」 愛知県基幹的広域防災拠点に併せて整備を進めている、町の避難所や賑わい施設について、賑わい・交流に満ちた活気あるまちづくりに向け、施設をどのように生かしていくかを話し合う。
日時	令和4年12月3日（土） 午前10時～午後4時30分
参加者	31名（15歳以上の町民から無作為抽出した2000人に対して参加案内を送付し、参加希望があった者）
実施内容	5名～6名のグループに分かれ次のステップで討議を行った。 ステップ1 ○お気に入りのメッセージカードを選ぼう ステップ2 ○グループで一つ「未来の豊山ってどんな町？」をつくろう ステップ3 ○とよやま「推し」スポット共有 ステップ4 ○「にぎわい」ナインシート ステップ5 ○「にぎわい」アイデアだし ステップ6 ○活用アイデアをまとめよう

5.4.2 討議結果ワークシート

ステップ6 ワークシート

グループ(A)

にぎわいあふれる未来のとよやま

キーワード	交流(イベント)×老若男女×継続性
名付けて	Rich Mountain(豊山)で映え♡
内容	魅力あるイベント(飲食店やBBQ)で老若男女が継続的に楽しめる場所
こんな施設・設備があったらいいな(理由も書いてみよう)	<ul style="list-style-type: none"> ・雨をしのげる非固定式のテント(災害時も使用) ・インスタ映えする景色(心ケア/この前で明るくラジオ体操) ・貸出テント ・マルシェ(食料配布+食料) ・Wi-Fi設備(無料)(災害時にも使える) ・ソーラー充電
こだわりポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・1日中楽しめる(わくわくと感動) ・ここにしかない景色やおしゃれ感(映え) ・季節に対応したフレキシブルな場 ・アウトドア(貸出テント)で防災体験(ソフト的ケアサポート)
こんな豊山になる	・全世界の人が豊山に注目(バズる)

	<ul style="list-style-type: none"> ・皆が主人公(特に豊山町民)事で動く ・人が集まる(税込増 etc)豊かな好サイクル化
--	--

ステップ6 ワークシート

グループ(B)

にぎわいあふれる未来のとよやま

キーワード	マルシェ×温泉×広場
名付けて	豊山パーク(豊パー)
内容	人が集まり笑顔になれる 地元の雇用になる
こんな施設・設備があつたらいいな (理由も書いてみよう)	道の駅+天然温泉+バーベキュー+ドッグラン+バスターミナル 野菜、雑貨、肉 ・地元の人が利用しやすい ・空港利用者が利用しやすい ・豊山町に税金はいる
こだわりポイント	豊山のものを使う オブジェのところで待ち合わせ
こんな豊山になる	日本で有名な町になる ランドマーク

ステップ6 ワークシート

グループ(C)

にぎわいあふれる未来のとよやま

キーワード	子ども×コスプレ×ぼんおどり
名付けて	豊山DEコスプレナイト
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれ好きなコスプレ ・老若男女が集まる ・出店で食事やゲームができる
こんな施設・設備があつたらいいな (理由も書いてみよう)	<ul style="list-style-type: none"> ・やぐら(イルミネーション付き) ・フォトスタジオ・プリクラ ・衣装貸し出し ・豊山音頭が連取できる施設・大型モニタ(踊り方表示) ・子どもを連れて入りやすいトイレ・おむつ替え(非常時に必要) ・健康チェック(非常時に必要)
こだわりポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・豊山温度 ・ぼんおどりをきっかけに健康に
こんな豊山になる	<ul style="list-style-type: none"> ・人と人との関わりやすくなる ・住み続けたいくなる ・楽しい ・子どもが住みやすい

ステップ6 ワークシート

グループ(D)

にぎわいあふれる未来のとよやま

キーワード	ライブ×フリマ×フェス
名付けて	とよフェス ～きてみやあ～豊山～

内容	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋とばしをさせない！！ ・大規模イベントを招く
こんな施設・設備があつたらいいな (理由も書いてみよう)	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外ステージ ・フリマができるスペース ・日よけのタープ ・屋台キッチンカースペース
こだわりポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・飛行場(空港)直結 ・大音量でも大丈夫
こんな豊山になる	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽イベントが集結 ・若者が住みやすい

ステップ6 ワークシート

グループ(E)

にぎわいあふれる未来のとよやま

キーワード	空の駅×パン屋(アンテナショップ)×人の輪
名付けて	アド街ッ空 豊山！！
内容	空の街＝空の駅をつくる！！ 他にはない豊山町の“強み”を活かした場(アンテナショップ・体験ゾーン)をつくり町内外の集客をはかる。
こんな施設・設備があつたらいいな (理由も書いてみよう)	<ul style="list-style-type: none"> ①体験できる空間＝災害にも強いシェルターにもなる！！ ・飛行機にまつわる体験ができる (ファーストクラス・機内食・職業体験・メタバース・マナー講座 etc) ②アンテナショップ(パン屋など)
こだわりポイント	<ul style="list-style-type: none"> ①飛行機を見ながら食事・畿内を模した空間 ②ご当地のモノ・ヒト・コトにまつわるモノ ③豊山推しファンクラブに入ることによって優待あり
こんな豊山になる	<ul style="list-style-type: none"> ・住みたくなる！ ・教えたくなる！ ・自慢したくなる！ ・豊かになる！ ・笑顔になる！ ・豊山推しが増える！

ステップ6 ワークシート

グループ(F)

にぎわいあふれる未来のとよやま

キーワード	飛行機と 音楽フェス 大山川下り 自動運転カー × マルシェ × ラフティング のりものでわくわく 音でわくわく 自然でわくわく
名付けて	空川音大作戦〈コウフクドランキング1位〉
内容	全国各地のファンが飛行機で来る。 空港からフェス会場へは自動運転カーで。 楽しく遊んでもらえるよう、商店街、北部市場、キッチンカー・ハンドメイド作家さんに出店してもらったり、大山川下りでわいわいしてもらおう。(四季折々で楽しめる工夫)パレードとかしちゃう。
こんな施設・設備が	・屋外ステージができる準備

<p>あったらいいな (理由も 書いてみよう)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽ホールを作っちゃう(雨天) ⇒アリーナでできるような何か工夫を… ・船頭いるゴムボートの準備(防災用) ・川沿いの整備 川をきれいにしてどじょう蛭が住めるようにする ↑小学生たちに手伝ってもらう ・パレードで川下りも楽しんでもらう ↑小中ブラバンの活躍の場に
<p>こだわりポイント</p>	<p>全国から豊山町へ来てもらうことによって豊山の良さ、楽しさを発信できる。 ゴムボートで防災の練習を体験。 しかも楽しくて、帰りには皆が仲良しになる。</p>
<p>こんな豊山になる</p>	<p>豊山町内外問わず、皆がハッピーな町。 音楽を楽しみ、おいしいものを食べ、自然とふれあいあったばかりの人も、みな仲良しになる。つまりみんな豊山町ファンになって、幸福度ランキングで堂々の1位になっています！！</p>

